

## あと一筆 栽培面積を増やしましょう！！ ≪需要(売り先)があり 品質の良い「みずかがみ」≫

滋賀県で育成された「みずかがみ」の栽培面積は、平成 25 年の栽培開始以降年々増加し、平成 29 年産は県全体で 2,580 ha (県内水稲作付面積の 8.2 %) となりました。東近江管内においても増加し、平成 29 年産は 1,333 ha まで拡大しています (図 1)。

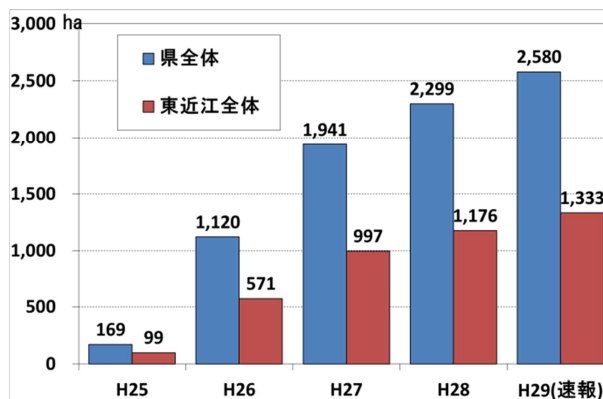


図 1 「みずかがみ」の栽培面積推移

### ●平成 29 年産「みずかがみ」の一等米比率は高かった！

平成 29 年産水稲の品質は、出穂期以降 (7 月後半～8 月中旬) の日照不足などから全般的にかなり厳しい状況となりましたが、「みずかがみ」の一等米比率は約 90% となり、他の早生品種「コシヒカリ」約 70%、「キヌヒカリ」約 60% と比べ高い比率となりました。

### ●「みずかがみ」の需要は、まだまだある！

「みずかがみ」は、卸売業者から「実需者からのリピート、新規取扱いにより販売好調」や「一等米比率が高く、乳白粒が少なく、品質は良好!」との高評価を受け、平成 29 年産の要望が約 13 千トンもありました。しかし、その要望に応えられるだけの栽培面積が無く、約 10 千トンの生産にとどまっています。

平成 30 年産「みずかがみ」も 29 年産同様 13 千トン以上の需要が見込まれることから、「みずかがみ」の県全体作付面積 3,000ha (東近江管内 1,500ha) 以上を目標に面積拡大が必要です。

**需要 (売り先) があり、品質が良い「みずかがみ」の栽培を、あと一筆分増やしましょう！**

### ●転作 (大豆) 跡で「みずかがみ」を作付けしてみませんか！?

東近江管内の平成 29 年度転作面積は 4,674ha あります。「みずかがみ」は、高温登熟性に優れ良食味は勿論のこと、稈長は「キヌヒカリ」並みで倒伏に強い特徴も兼ね備えています。この特徴を活かし、転作大豆跡ほ場の 1 割 (467ha) で「みずかがみ」栽培を増加すると、目標面積 (1,500ha) の 1.2 倍 (1,800ha) となり、卸売業者の評価もさらに期待できます。

なお、大豆の生育状況によって基肥を半量以下を基本とし、安定した食味や品質維持が必要なため、下記の生産者要件が前提となりますので、まずは当課へご相談ください。

東近江管内の「みずかがみ」作付面積 (H29) は、**1,333ha**

東近江管内の転作面積は、**約 4,674ha**

転作面積の 1 割に「みずかがみ」を作付けた場合、**1,800ha に拡大!**

- 環境こだわり農産物の認証を受けること
- 全量種子更新し、自家採種は行わないこと
- 種子を第三者に譲渡しないこと
- 1.85mm 以上の網目で調整すること
- 出荷にあたっては農産物検査を受検すること